

第19回 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構分科会 議事要旨

1. 日時：令和5年8月3日(木) 10:00~11:50

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3. 出席者

(1) 委員

白坂分科会長、片岡分科会長代理、青木委員、田辺委員、中村委員、林田委員

(2) 事務局

風木局長、坂口審議官、滝澤参事官

(3) 宇宙航空研究開発機構

山川理事長、鈴木副理事長、原理事、石井理事、國中理事、佐々木理事、寺田理事、布野理事、佐野理事

4. 議事要旨

(1) 宇宙航空研究開発機構の令和4年度における業務実績評価について

宇宙航空研究開発機構の令和4年度における業務実績評価について事務局及びJAXAから資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。主な議論は以下のとおり。(○委員からの質問・意見、●JAXAからの回答)

○研究の倫理指針を始めとした都度変わっていくルールを、どのような体制でJAXA内の指針に反映し管理してるのか。

●倫理審査を行う事務局を整備しており、毎年倫理に関する指針の改定を行っている。また、研究推進をフォローする事務局を準備している。

○JAXAの中に組織を自己点検する監査組織のようなものがあるのか。

また、組織の管理運営が適正に行われているかどうか、理事長がトップになっての全体評価をするようなことが定期的に行われていたのか。

●評価監査部という部署で、内部監査として定期的に各部署の業務の監査を実施している。また、外部人材からなる監事による監査を定期的に受けている。

○過度にコンサバティブになってしまうと開発のスピードも落ちる。新しいことにチャレンジしていく時にはどうしても失敗もつきものというところもあるので、失敗を恐れずどんどん試していくべきところと、リスクマネジメントというところをよく考えながら、どうバランスを取っていくかが非常に大事である。

●リスクの評価は従前からしっかり取り組んでいるが、特にイプシロンやH3等、最近の事象を振り返って、何か改善すべきところがないかという点をこれから検討したい。我々自身も何らかの工夫をしていくということも検

討しながら、今後取り組んでいく。

その後、委員のみで評価の最終審議が行われ、本分科会としての宇宙航空研究開発機構の令和4年度における業務実績評価を確定した。

(2) その他

事務局より以降の大臣評価決定までの流れについて説明が行われた。

以 上